



復刊第145号
題字 吉岡弥生

巻頭言

会長 佐藤千代子

新年おめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、心あらたに新しい目標への充実感にみちみちていらつしやいますことと存じます。

輝かしい新春であるべきでございますが、社会全般と致しまして私どもの心に陰をおとしますのは一九九五年、あまりにも強烈な出来事が連続いたしましたこととございます。今なお重い心が影法師となつて前を歩いている感でございます。

ふり返つてみますと、1月17日、大災害をもたらしました阪神・淡路大震災!!それは凄まじい自然の力に人間の無力さを思い知らされたものでございました。壊滅的な打撃の中で再建に頑張つていらつしやる被災者の方々に、国の行政努力とあわせて全国民が、今回の災害は自分たちによりかかつていたかも知れない!

の恐怖の心で復興への応援をしなればならないと考えます。

震災の打撃のさめやらぬ3月、オウムの問題が次々と明らかになりその非人間的な罪の救々に言い知れぬ憤りを覚えるばかりでした。医師を始めとし優秀な科学者がその集団による殺人に加担していたことを知るに及んで、なぜ、なぜと常識では判断できない状況で、専門家の解釈を聞いてもお理解できない疑念が残りました。昨今の社会風潮があまりにも身勝手な個人主義を許容し、秩序を無視した生き方が堂々とまかり通っていることも、この事件の一因となっているのではないかと考えます。

それに引続き、経済の崩壊、混乱に乗じた汚職はあとを絶たず、その上いじめに起因した子供たちのニュースが相つぎ、暗澹たる気持で社会

の責任を痛感せずにはいられません。私どもの診察室で見かける幼少の子供たちの傍若無人の行動に対して母親はまったく無関心であり、ただ強者を誇示する子供たちの姿にいじめの芽生えを感じるのはいじり過ぎでしょうか。社会教育を大切にする教育を望むばかりです。

このドラスチックな一年の中で、女医会と致しましては、女医の責任、在り方を基調に講演会、シンポジウムを開催して参りましたが、そのつど会誌に報告してございますが、年の始めに際しまとめてみました。

1995-1-28 於東京
第8回ワークショップ「女医の未来像」開業医、大学勤務の臨床医学者、大学勤務の基礎医学者、行政職、女医の国際協力、それぞれの立場からの提言。

1995-2-10、3-10、12
阪神・淡路大震災避難所の巡回診療、同時に千名近い会員から寄せられた義援金を兵庫県支部会員並びに一般被災者へ贈る。巡回診療の記事が「日医ニュース810号」に掲載された。

1995-2-18 於高崎市
公開講演会、テーマ「本音で語るうエイズ」お母さんの知らない息子たち

1995-5-7、12 (オランダ)
第23回国際女医会議、テーマ「変化する世界の中の女性の健康」この会議において日本女医会橋本葉子常任理事が国際副会長に選出された。

もくじ

巻頭言.....佐藤千代子(1)

◇年頭所感

北海道・奥山 春枝(2)

青森・前田 慶子(2)

秋田・金子ミサヲ(2)

山形・岸 よし(2)

宮城・山本 蒔子(2)

福島・兼谷 啓(3)

大田・佐藤 良子(3)

葛飾・姉小路和子(3)

台東・尾中 妙子(3)

中央・中嶋 幸子(3)

千代田・井上 柳子(3)

豊島・上崎 道子(3)

練馬・関口 喜久(3)

東女学内・竹宮 敏子(4)

◇平成7年度日本女医会講演研修会

講演研修会を開催して.....橋本 葉子(6)

DNA鑑定.....澤口 彰子(7)

〈私の大学〉 金沢大学医学部.....内潟 安子(8)

晩秋、ヨーロッパの旅.....稲生 襄(8)

少子問題を考える.....松本 文絵(9)

郡山市で公開講演会.....兼谷 啓(10)

○第41回定時総会および学術会議のご案内.....(5)

○第6回国際女医会西太平洋会議のご案内.....(9)

平成6年度日本女医会会員学位取得者一覧表.....(11)

理事会議事録.....(11)

会員動静.....(12)

編集後記.....(12)

1995-5-27 於大宮市
第40回日本女医学会定時総会。記念講演「間質性肺炎の臨床」。吉岡弥生賞。荻野吟子賞。学術助成金授与。
1995-6-24 於福岡市
第9回ワークショップ「女医の国際貢献」その2「わが国の国際保健医療協力の現状」国際保健医療協力の経験から「女医の社会貢献」
※第7回ワークショップ「飛びたとう世界へ」女医の国際貢献 ―その1―は1994・7・23に開催。於東京。
1995-10-15 於郡山市
公開講演会「お母さんに知っていただきたいエイズの話」息子たちはいま
1995-11-25 於東京
講演研究会とミニシンポジウムシンポジウムのテーマ「二十一世紀への法医学の展開」―乳幼児突然死症候群。DNA鑑定。

年*頭 *所*感

北海道支部
奥山春枝

明けましておめでとうございます。大地・世情は大荒れ、政情は不安定という落着かない一年でしたが、北海道支部は平穏無事な年でした。例年の事業となっており、一般市民向けの公開講演会はアレルギーをとり上げました。支部会員による講演会・懇親会は二度開催して親睦を深めております。その中でも何とか若い人たちの参加を増やそうと願っております。また北海道在住女医名簿を三年ごとに更新し、毎年訂正版を出しておりますが、全道で活躍している女医は八百五十名ほどになりました。

部会員の方々に少しでも魅力ある女医会であるようにと努力を重ねているところです。

青森支部
前田慶子

各方面にご活躍の会員の皆様に謹んで新春のご挨拶を申し上げます。昨年は国の内外ともに多難の年でございましたが、その中で女医会の皆様が果たした役割と、社会からの期待は大きいものでございました。これからも、会の充実と、活動の場を広めるために、新しい会員の方々のご理解とご協力を是非いただきたいものと存じております。

秋田支部
金子ミサヲ

謹んで迎春のお慶びを申し上げます。昨年の第40回定時総会では、埼玉県支部長先生をはじめ会員諸先生方のあつい情熱を感じる学術講演、懇親会と嬉しく充実した気持ちで日本女医会の偉大さをさらなる重みで感じとっております。はやくも新しい年、魅力の福岡市における第41回総会開催のご案内、胸はずませております。

山形支部
岸よし

明けましておめでとうございます。皆様よいお年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。今年ほど、新年を待ち遠しく思った年はありません。昨年は亥の年で、1月早々から阪神大震災に見舞われ、また思うだにおぞましいオウム教の悪事、後を絶たないいじめによる中学生の自殺等、悪夢の中の一年でした。

宮城支部
山本蒔子

明けましておめでとうございませうか、女医の活動も誠に静かで、笛吹けど踊らずの現況であります。もともと笛の下手なせいも強く反省しているところであります。年の始めに当り会員皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

あけましておめでとうございませう。宮城県女医会は、昨年役員の変更があり、新役員のもとで活動が始まりました。宮城県女医会に入会してから、なぜ女医会が必要なのかを考えてきました。とくに現在のように男性とともに学び、研究生活を送っている若い人たちはそれを感じるのではないのでしょうか。

福島支部
兼谷啓

輝かしい一九九六年の新年を迎え、社団法人日本女医学会のご発展と、会員の皆様のますますのご活躍を心祈念申し上げます。昨年は郡山市におきまして、公開講演会を開催させていただき、光栄にあずかり、福島県支部会員一同、惜

大田支部
佐藤良子

昨年は、阪神大震災に始まり、恐ろしいことが続きました。今年こそは不況の経済界にも光が見えて欲しいものです。大部分の人々が、笑顔で過ごせる社会の実現を願って微々たる力をしほりたい。しかし、末梢の零細開業医は諸々の事に忙しく、「言うは易し、行うは難し」です。日本女医会のさらなる活躍を願っています。

葛飾支部
姉小路和子

支部長も二年目になり会にも大分馴れてまいりました。葛飾支部では、毎月第三水曜日の夜、青井禮子先生を中心に勉強会を開いております。夕食をいただきながら情報の交換にもなり親交を深め

台東支部
尾中妙子

昨年は久しぶりに、新入会員があり、喜んでおります。会費も自動振替となり、安心してほつとしております。春には、会員以外の先生方もお誘いし懇親会を開きました。お二方に入会していただくことができ、本当にうれしゅうございました。今年も支部の和を第一にがんばって行きたいと思っております。

中央支部
中嶋幸子

明けまして、おめでとうございませう。昨年は新春早々におきた阪神大震災につづいて、歴史その類をみない、新興宗教オウムによる数々の犯罪、日照不足、一転して猛暑、低迷する経済、何ともたよりにならない政治状況、その中で被災された会員の先生方には心身ともにご苦労の一年であったことと思っております。そのことを考えますと心からおめでとくと、申しあげられない心境です。被災地の復興もなかなか容易ではないようですが、どうかがんばってください。

豊島支部
上崎道子

大震災で幕を明けたような平成7年は、国難続きの暗い年でしたが、震災時の日本女医学会の医療ボランティアは、一条の光となって下さいました。その際眼科の診療とともに被災者に贈られた老眼鏡が私の手許に届けられて、インドとスリランカの方々に贈られました。スリランカの方に、日本の老眼鏡は身体が大きなスリランカの方に似合うでしょうか。眼鏡はどんなファッションですか？とたずねましたら、スリランカでは近視遠視などで眼鏡を使うという考えすら起らないと言われました。即ち、眼鏡は高値で庶民の手が届かないのです。彼らに老いても見える喜びを初めて与えて下さった日本女医会に、お礼を申し上げます。

練馬支部
関口喜久

明けましておめでとうございませう。昨年は天災人災とさまざまな災害に見舞われました。阪神大震災からはやがて一年を迎えようとしておりますが、被害に逢われた方々にとりましてはさぞかし厳しい新年かと胸がいたみませう。練馬女医会は、日本女医会員以外

第6回国際女医会西太平洋地域会議。テーマ「家族の健康と幸福」
1996-5-25 於福岡市
第41回日本女医学会定時総会。記念講演「小児外科―最近の進歩」ラウソンドーブル「地域医療における女医の役割」
1996-7-17-18 (学会主催)
第28回日本医学教育学会総会及び大会。シンポジウム―総合教育の実践。パネルディスカッション―二八

〇〇名弱の女性医師及び一〇〇〇名の男性医師からのアンケート分析結果報告。二十一世紀に望まれる女性医師像。その他―以上
新年からの新しい企画、継続事業の中間報告などその都度ご報告、ご案内申し上げますのでご助言、ご指導賜りますよう、そして各支部におかれまして是非講演会、シンポジウム等ご開催くださいますようお願い申し上げます。

成報告等、ひとときわレベルの高い何か女医の躍動感みなぎる血潮を感じさせるものでございました。独立しております秋田県女医の会の皆様にもこの感動を伝え、会員拡大に努めたいと存じます。

く運ましく、命を大切に生きてほしいと願わずにはおられません。思えば、私の生れた亥の年は、関東大震災でした。今年こそはよい年でありませうに切に祈るものであります。当山形は誠に恵まれた土地柄で、ことに山形市近郊は蔵王山に護られて、天災地変はほとんどない静かで穏やかなところでありませう。

の女医先生方にもお集まりいただき、もっぱら親睦を主とし、あわせて小勉強会を年二回ほど開いております。出席者は二十名前後ですが、お互いに楽しく交流を深めております。練馬区在住の女医数は約九十名、内日本女医会員は二十三名です。この方方におすめして一人でも多く日本女医会に入会していただきたいと希っているところでございます。

東女学内支部
竹宮敏子

新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

年の初めに次代を担う若い世代の方々に一筆。妊娠、出産、育児で毎日大変な思いを続け、周囲の事情でやむをえず一時職場から遠ざかっている方々がターゲットです。主婦業に振り回されるだけでなくできる範囲で自己研修や先輩・同僚との親睦を心掛けてほしいと思います。

そのためには日本女医会に入会され、いろいろな企画で実施されているワークショップや講演会に出席してみたいかがでしよう。普段なかなかお目にかかることのない先生方とも簡単に親しくなることができま

す。今年全国の女医の数が二万六千余名になると聞いております。これから女医の役割と責任はますます大

きくなると思ひ、年頭から後輩へのメッセージとさせていただきます。

山梨支部
小林梅子

無事に新しい年を迎え、慶ばしきことであり、有難きことである。会員は少人数ではあるが、会を中心に解けあい睦み合っている。大仕事はできないが、何か事あればすぐ行動にうつせる会員たちである。

しかし年々老化してゆく事は否めない事実であり、若い新鮮な会員により活性化してゆきたい。今年はこのままで歩んできた道程を、ささやかでも一応まとめてみようという話合っているところである。

静岡支部
杉本とし

新年のお祝いを申し上げます。一年をふりかえりますと、5月27日の大宮市での総会がまことに盛会でしたこと、瀧沢先生の講演(間質性肺炎の臨床)は臨床から離れている私にもよく理解でき、有意義でございました。しかし国内ではいろいろな事件が後をたたく、自然災害は致し方ないとしても、その復興についての問題がのこりました。そんな中で女医会の方々の活躍は立派でした。静岡支部では例年の年一回の総会

(講演をふくむ)だけで、目立つ行動はなく申しわけなく思います。そして若い方々にどんな牽引役をしていただければと、せつに願う新年でございます。

愛知支部
佐藤秩子

おわりに女医会の一層の発展をお祈りいたします。

平成7年は1月の阪神淡路大震災に続いて医者も関与したオウム事件など心懸がせられる出来事にあれよあれよとするうちに師走になってしまいました。来年の学術集会(公開シンポジウムを予定しております)をお引受けしたことで支部会員は緊張の新しい年に備えることになりましょう。また比較的若い会員の入会を何とかして勧誘したいと、その対策について衆知を集めて計画を練っており、まず意識調査や現状把握の実態調査にはいってまいります。他の支部でもどのようにしていらつしやるか、それもお教えいただきたいなとも思っております。

長野支部
内坂由美子

阪神大震災で始まった95年は、また寒い冬で閉じようとしています。例年になく、新しい年の訪れに心が

弾まないのは、日本だけでなく、世界各地の災害、戦争の影が濃く私たちが包んでいるからのように思っています。

この時、日々の生活の中で、より弱く苦しむ者に仕えていく積み重ねの上で、私たちの希望を仰ぎみることでできれば、何と嬉しいことでしょう。

長野県北信外国人医療ネットワークは今年の夏も外国人のための無料検診を実施し、一七七名も受診があり、二七六名のボランティアの参加がありました。(内医療従事者六一名)

オリンピックが近づき、多くの外国人労働者が道路、新幹線の建設のために働いています。同じ地域で生きて働く者が生命を守るための医療を受ける権利が保障されていきますように今年も働きたいと思えます。また、ターミナルケアの学習とネットワークをめざす長野緩和ケア研究会の活動も年三回の講演会、安楽死のイベント、ケースカンファレンスなどを重ねて、確実に成長しています。全国の女医の先生方がよく用いられ、社会に貢献していくことができますように。

新潟支部
神田敬子

お正月の日本海海岸は荒波が岸にぶつかって、真白な泡を巻き上げ、

さつと引き上げていき、静けさのみを残すを繰り返しています。日の出は遠い西の山々の間から少しずつ頭を出して昇り、自宅の窓から拝めます。会員は十名ですが、この自然が新潟県人独特の人情を作っています。地味でシンが強いと言われているようか、私は東京三十五年、新潟三十六年なので、現在半分を超過した所です。最近では当地でも卒後研修会が多くなりましたので、会場で久しぶりに先輩、後輩と出席することがあります。皆笑顔でお元氣のごようすです。

大阪第7支部
弓場光子

今年「子」十二支の第一、ねずみ、方角の名で北、昔の時刻の名は真夜中の十二時ごろ、またおおよそ午後十一時頃から午前二時のあいだの時刻、子の刻です。

さて最近の話題は医療関係はもちろんのこと、すべての分野で「二十世紀」をとりまく環境云々と、テーマへのアプローチをいかにするかを取りあげております。その中で、昨年は第四回国連世界女性会議が9月北京で開催され、女性の政治・社会への参画を促すために十二の重要領域について提言、各国の果たすべき具体的行動を示した会議でした。五年後にはその達成度の検証が行われるそう、日本は世界的にみれば女性問題途上国と思われているらし

いので、私たち女医も進取の気性に富む活発な医療の一端を荷って、そのことの重大さを自覚しなければならぬと、大きなビジョンを掲げている反面、ライフスタイルとしては余生をいつも心おだやかに、無理をせず、老いを感じず、若い心を大切に、なるべく人に頼らないことをモットーとして過ごしたい心境です。

大阪第10支部
子安佳子

新年あけましておめでとうござい。名ばかりの支部長で、常々お恥かしく反省しております。

今までの先輩諸先生の一方ならぬご努力と、若い先生方のあらゆる方面での活躍で、医学的には全く男女差はないものと思いますが、人間社会に男、女性が存在する限り、おのずとその役割は違って当然でありま

しょう。現在社会ではむしろ男性の意識改革がさらに必要で、日本医師会と日本女医会は共存共栄の実を計り、女性医師はますますたくましく前進あるのみです。やがて国際及び日本女医会は、今よりさらに進んだ形でその存在意義がでてくるものと信じております。

兵庫支部
宮地民子

新年の冒頭にあたりまして、日本女医会、会員の諸先生方に阪神大震災被災地在住の会員一同より厚くお礼申し上げます。

昨年5月、日本女医会会長先生はじめ、副会長先生、理事の諸先生方にご来神賜り、ご懇篤な震災お見舞いのお言葉と多額の義援金をいただき、感激の極みでございました。

被災地在住の会員は全壊から一部損壊まで、すべての方が被害をこうむっております。まさに千天に慈雨の思いでございました。

この暖かいお心に応えるべく再起のためがんばっております。六甲の緑深い山脈を背にし、静かに夕日の映える瀬戸の内海を南に錦の帯のように長く彩る美しい神戸の街は、今満目一望の瓦礫の山の中にあり、私たちは茫然自失の中にありました。悲嘆にくれ慟哭の日々でございました。

しかし、ここ神戸の人々の気質は明るく楽天的で人情厚く、文化的成熟度も高く、羨望の土地柄でありました。打撃は大きくとも必ず蘇ると信じております。

女医会会員諸師は、社会的使命に鑑み鋭意努力をしております。悪夢は必ず覚めるときがくることを信じがんばります。応援してくださいませ。ありがとうございました。

第41回 定時総会および学術会議のご案内

開催日 平成八年五月二十五日(土曜日)
会場 シーホークホテル&リゾート
福岡県福岡市中央区地行浜2-1-3
TEL 〇九二(八四四)八一
FAX 〇九二(八四四)七八八七

日程 ●五月二十五日(土曜日)行事
(1) 受付 九時三十分~十二時 シーホークホテル&リゾート1Fロビー
公開シンポジウム 十時三十分~十二時
シーホークホテル&リゾート3F「ヴェガ」
「未来をひらく女医の役割」

評議委員会 十時三十分~十二時
昼食 十二時~十二時四十分
総会 十三時~十五時
休憩 十五時~十五時二十分
記念講演 十五時二十分~十七時
演題 小児外科 ー最近の進歩
講師 九州大学小児外科学講座教授・水田 祥代

(2) 懇親会 会場 シーホークホテル&リゾート1F「アルゴスE・F」
アトラクション 趙国良による胡弓と洋琴の夕べ

●五月二十六日(日曜日)観光Aコース(1泊) 吉野ヶ里とハウステンボスコース
一日目 シーホーク—ハウステンボス(自由散策)
ハウステンボス泊ホテルヨーロッパ(〇九五六一五八一—二二)

二日目 ハウステンボス—有田(チャイナ・オン・ザ・パーク)—吉野ヶ里—福岡空港
●五月二十六日(日曜日)観光Bコース(日帰り) 有田やきもの里コース
シーホーク—有田ポーセリンパーク—有田(柿右衛門邸・源右衛門窯)—福岡空港(十七時頃)

宗像壽子

宗像壽子 画像
謹賀新年。昨年1月17日阪神大震災時血液緊急輸送し、献血検査では本所、出張所三方所の固定施設と採血車で会員の方々のご協力を得ました。さらに平成7年7月よりのPL法実施に伴いGMPの見直し強化、文書作製、コンピューター・システムの見直し改善、厚生省の監査、指導、問診の強化等、先生方にご理解ご協力いただいております。
平成6年度広島開催の中・四国輸血学会で会長を務め、特別講演「造血幹細胞移植について」は日本で初めて実施された徳島大の高上洋一先生の論文、全員の抄録、三名の論文掲載を日本輸血学会雑誌に許され一応の成果を得ました。
また来たる2月3日(土)第4回赤十

松浦俊子

松浦俊子
あけましておめでと。ございます。高齢化社会を迎えて、政治のこんとん、医療行政の変革、公的介護保険の導入などなど、世相も医療界も複雑な様相を示しています。香川県支部としては、一昨年より、台所と直結の医療というテーマで「健康は三度の食事から」を実践してまいりました。
時節の魚をメインにバーフェクト食の講演と試食会を第一回昨年6月

高岡明生

高岡明生
明けましておめでと。ございます。今年も平成8年、末広がりの年でございませう。大いに発展することを期待しております。
人と人とのコミュニケーションが時代と共に稀薄になり、スーパーマーケットに行けば、一言も喋らず買物をする事ができます。私たちは

浜崎浜子

浜崎浜子
日本女医会の皆様、明けましておめでと。ございます。また新たな一年が始まろうとしています。
今年も新鮮な気持ちで、健康で、努力と勉強、そして楽しく過ごして行きたいと思っています。
女医の数も年々増え、二十代にお

水田祥代

水田祥代
明けましておめでと。ございます。昨年は阪神大震災やサリン事件、いじめなど怖いことや悲しいことがたくさんありましたが、今年も明るい楽しいことがたくさんありますように祈っております。
活動を再開しました福岡支部は昨年6月に第9回ワークショップ。女医の国際貢献—その2—を担当させていただきました。今年も第41回日本女医会総会を担当させていただきます。実りのある、楽しい会にさせていただきます。
皆さまのご来福を心よりお待ちしております。

平成7年度日本女医会講演研修会

講演研修会を開催して

本講演研修会は去る11月25日(土)京王プラザホテル「あさひ」の間で開催されました。午後4時から「二十世紀への法医学の展開」と題する

橋本葉子

橋本葉子
ミニシンポジウムを、東海大学医学部・法医学の武市教授と、東京女子医大・法医学の澤口教授にお願いいたしました。午後5時から講演研修会の主題であります「医療の中の法と倫理」を北里大学医学部の唄孝一客員教授にお願いいたしました。現在の医療関係でホットな話題が中心となっていましたので、女医会員、非会員、学生を含めて一〇〇余名の

日本女医会学術部はワークショップを年に二回開催するか、ワークショップを一回、講演研修会を一回開催するか、年度により異なっておりますが、平成7年度は講演研修会を開催するよう準備を始めました。最初は宇宙飛行士の向井千秋博士を関

哀悼

山本スギ先生

山本スギ先生
平成7年9月9日没(老衰)
東大医大正12年卒
昭和34~63年日本女医会理事
参議院議員(二期十二年間)

山口二重先生

山口二重先生
平成7年8月14日没(心不全)
関西医大昭和14年卒
昭和33~44年日本女医会常任理事
45~53年理事、54~平成3年監事

熊谷美津子先生

熊谷美津子先生
平成7年10月16日没(肝不全)
東大医大昭和12年卒
昭和48~51年日本女医会理事
歌誌「紅霞」主宰
昭和46年宮中歌会始入選
謹んで哀悼の意を表します。



東京女子医科大学・法医学教室

DNA鑑定

澤口彰子

が余り優れないとの理由で、最初は良いご返事を頂戴できませんでした。唄先生のご都合が急に悪くなつても、講演研修会はどうか致しましてと申し上げて、やっとご承諾いただいたという経緯がありました。佐藤会長にもご相談の上、今回はミニシンポジウムをあわせて開催させていただきます。結果はむしろ良かったのではないかと考えておりますが、ご参加いただきました皆様方にはいかがでしたでしょうか?

学術部と致しましては出来るだけ多くの会員に、種々な分野のトピックスを提供して、日本女医会の存在意義を見直していただく一翼になりたいと、ワークショップも地域を変えて行うことを始めました。これからもなるべく東京以外の地域で学術活動を行いたいと考えておりますので、テーマとかご自身の地域で立案実行しても良いとか、ご意向を事務局までともしどしお寄せいただきたくお願いいたします。

の留意事項は民事面でのDNA型鑑定である親子鑑定にも当てはまるものです。
ヒトのDNA上には、約六・五万个の遺伝子が組み込まれて遺伝情報を担っています。遺伝子は一般に一群として転写を受けるDNAの塊を意味しています。
DNAの配列は個人間で違い(多型性)があります。多型性の分析はDNA全部を調べるのではなく、ある特定の個人による塩基配列の異なるや、一定の塩基配列の反復数の違いの検出を目的としています。塩基の反復配列(Satellite、サテライト)の個人差を検出するには、DNAの特定塩基配列部位を選択的に切断する制限酵素を用いてDNAを切断して、その長さに現れる個人差をみます。反復配列は反復単位の大きさによって、ミニサテライト(variable number of tandem repeat: VNTR)・マイクロサテライト(short tandem repeat: STR)などに分けられます。得られたDNA断片混合物を電気泳動し、ついでサザンブロット法という方法を行うと、ミニサテライト存在部位のみがバーコード状に感光したDNAフィンガープリントが作成されます。サザンブロット法で使用するプローブ(試薬)にはマルチローカスプローブ(MLP)とシングルローカスプローブ(SLP)があります。MLPはDNA中の各所に存在する同種のミニサテライトを検出し、一回の検査で二〇本以上のバンドが

得られ、そのバンドパターンから個体の異同識別が可能です。陳旧試料では良好な結果が期待できないなどの欠点もあります。一方、SLPはDNA中の特定位置にあるミニサテライトのみを検出するもので、対応するDNA上の位置が明確であり、少量の試料でも検査できます。
現在、一般的に用いられているDNA増幅を行うPCR(polymerase chain reaction)法は特定のDNA領域を温度の上げ下げを繰り返して増幅する方法です。微量試料からの分析が可能であることから、犯罪捜査に適していますが、SLP一種のみなので情報量が少ない欠点もあります。
塩基長が比較的短く、直列につながった反復配列を意味するSTRの多型は、微量かつ断片化したDNA試料からの個人識別など、法実務への有用性が高いとされています。私どもの教室で、五種類のSTRについて、遺伝子的変異性の検討を行うとともに、十五例の死後認知請求事件を始めとする親子鑑定に適用し、検討します。従来の血液遺形質との間に遺伝学的矛盾はなく、電気泳動時にPCR産物を混合して同時泳動を行うことにより、複数のSTRが容易に検出されました。法実務に有用性が高いものと考えます。
一九八五年にジェフリーズらが「DNAフィンガープリント」について報告して以来、世界各国でのDNA鑑定が注目を集めており、刑事

二十一世紀へ向けての法医学の展開のなかでも、法医病理学的鑑定(たとえば、乳幼児突然死症候群に関する識別)とDNA鑑定は法医学的実務及び研究の主流となるものです。
現在、DNAの多型現象を利用したDNA型の鑑定は法医学分野で広く活用されています。
刑事面でのDNA型の鑑定は平成元年に都道府県警察の科学捜査研究所に導入されていますが、犯罪捜査に役立てる証拠採用の立場から、運用指針が発表されています。
鑑定試料は血痕、精液、精液斑、身体組織片、毛髪などです。

主な運用指針は、①試料は個人識別に活用、②ABO式等の血液型鑑定と併用、③原則として対照試料がある場合に実施、④血液型鑑定と同様に個人に属するDNA型の型を分析・判定、⑤鑑定者は研修を行った人、⑥試料の採取・保存・管理の留意、などです。
DNA型の証拠採用については、この鑑定による個人識別精度が、一般的には数百人から数万人に一人という出現頻度であるため、血液型鑑定と同様に、あくまで証拠の一つと考える、ほかの証拠との整合性に留意する必要があるとされています。
これらの運用指針及び証拠採用上

面や民事面での鑑定が行われていま... DNA検査が持つ潜在的可能性は極めて大きいのですが、一方においてDNAの回収・多型領域の選定・検査技術・データ処理などの問

私の大学 「金沢大学医学部」

東女学内支部 内潟安子

金沢大学医学部の起源は文久二年(一八六二年)加賀藩が現金沢市内に種痘所をつくり、黒川良安、大田美濃里、津田淳二らの医師に付与した年をもってはじまります。

たびありました。六年で医学部を卒業することは難しいかもしれないからと両親に暗に学費をその分頼むと頼んだことを思い出します。

晩秋、ヨーロッパの旅

神奈川支部 稲生 襄

川崎市の「市政だより」(月一回発行)に、友好都市ザルツブルグ市ジャパンウィーク見学とウィーン、ロマンチック街道九日間」の募集を見て応募したところ当選、11月6日

(月)から14日(火)まで行って来た。急なことで、仕度もそこそこに出かけたが、真つ先についていたウィーンでは雪が舞っており驚いた。雪は三日でやみ、その後は日本の晩秋の

ような好天が続く、思いがけず異国の地で紅葉を堪能することができ、本当によかったと思う。なかんずく、ロマンチック街道は十七年前(昭和53年)ベルリンにて国際女医学会が開催され、一週間も滞在したのに見損なったので、今日まで折あればとねらっていた。

そのすばらしさに陶酔した。帰り途満月が皓々と輝き、市内を眼下に立ち去り難い思いにかられた。さて、宿望のロマンチック街道であるが、これは「ローマの道」の意で、ロマンとは無関係で、日本の東海道、甲州街道、中仙道と同じである。しかし一〇〇年も前につくられた道が、いまだにがっちりとしていたのは驚かされる。フランクフルトの東南約一〇〇キロに位置するヴェルブルグからドイツ最南部のアルプス山麓フェツセンまで全長三五〇キロをいう。街道は美しい町や村が点在し、古きよきドイツを感じさせる。(今回は逆コース)

街道を通り、ハイデルベルヒに向かった。学生の街として世界中に知られるこの町には、一七七八年建設の七つのアーチをもつ『古い橋』や『哲学の道』などがあり、ネッカー川が旧市街と静かな住宅街を分けて

男性の好まれるというハイデルベルヒ城もなかなかよかった。赤砂岩でつくられており、展望テラスからの眺めは最高、第二次大戦の戦禍は受けていないようだ。バスにて一時間後フランクフルトに着き、一泊して翌朝帰国の途についた。

道があるのか...ということから、人口問題が真剣に討議され、昭和23年に「経済的理由」という項目を得て、人工妊娠中絶術が認められたのです。第一次ベビーブームといわれた昭和22年の合計特殊出生率が四・五四人だったことを思い出すと、昭和23年の人工妊娠中絶術の認可が、

背に腹はかえられぬ、やむを得ないものであったにせよ、今日の少産・小児問題にカゲを落していることは否めません。先日北京での女性会議で、人工妊娠中絶は悪だとか、胎児の生きる権利をどうするのかということが問題になりました。

私は、江戸時代に行われた「間引きした子」これを水子といったようですが、この霊は、今より良い環境にもどってくる。という「生まれ変り」の考え方が輪廻転生という日本人の死生観に近く、このことが中絶手術のコンセプトになっていると思いますが、欧米の「終末思想」とか「神の子をあやめるバツ」ということは全く異なった考え方にはありません。しかし当時、経済的理由というところで手術が受けられたことにより、「自分の無知で水子にしてしまった」という母親のつらい思いと、望まぬお産をしないでください」というホッとした気分が同居したはず

第22回日産婦人科大会公開フォーラム(7.10.15)より

京都市支部 松本文絵

新聞によりますと、今年の初め、お隣りの中国では一二億人目の赤やんが生まれ、これで世界の人口の五人に一人は中国人だ、とか報じられていました。

女性が生涯に生む赤ちゃんの数、これを「合計特殊出生率」といいますが、それがわが国では二人を切り、平成元年には一・五三人になってしまいました。マスコミはその事実を驚き、「一・五三ショック」と名づけてアピールしたわけです。つまり、医師の側からの訴えから、ようやく経済効果として人口問題が大きく論じられるようになりました。

今年には戦後五十年ということ、各方面でさまざまな総括が行われています。それにしても、五十年前の日本は、本年1月17日、阪神をおそった大震災以上の破壊が、全国の大都市にまで及び、農村は疲弊の極にありました。そして毎日九死に一生を得てようやく祖国日本に引揚げてこられた方々をお迎えした時、この狭くて資源のない国に、どんな自立の

その後、社会のめまぐるしい変転とともに、だんだん女性が大胆になり、「望まぬ産をしないで済む」ということが、性の革命として女性

そのすばらしさに陶酔した。帰り途満月が皓々と輝き、市内を眼下に立ち去り難い思いにかられた。さて、宿望のロマンチック街道であるが、これは「ローマの道」の意で、ロマンとは無関係で、日本の東海道、甲州街道、中仙道と同じである。しかし一〇〇年も前につくられた道が、いまだにがっちりとしていたのは驚かされる。フランクフルトの東南約一〇〇キロに位置するヴェルブルグからドイツ最南部のアルプス山麓フェツセンまで全長三五〇キロをいう。街道は美しい町や村が点在し、古きよきドイツを感じさせる。(今回は逆コース)

第22回日産婦人科大会公開フォーラム(7.10.15)より

京都市支部 松本文絵

新聞によりますと、今年の初め、お隣りの中国では一二億人目の赤やんが生まれ、これで世界の人口の五人に一人は中国人だ、とか報じられていました。

女性が生涯に生む赤ちゃんの数、これを「合計特殊出生率」といいますが、それがわが国では二人を切り、平成元年には一・五三人になってしまいました。マスコミはその事実を驚き、「一・五三ショック」と名づけてアピールしたわけです。つまり、医師の側からの訴えから、ようやく経済効果として人口問題が大きく論じられるようになりました。

今年には戦後五十年ということ、各方面でさまざまな総括が行われています。それにしても、五十年前の日本は、本年1月17日、阪神をおそった大震災以上の破壊が、全国の大都市にまで及び、農村は疲弊の極にありました。そして毎日九死に一生を得てようやく祖国日本に引揚げてこられた方々をお迎えした時、この狭くて資源のない国に、どんな自立の

その後、社会のめまぐるしい変転とともに、だんだん女性が大胆になり、「望まぬ産をしないで済む」ということが、性の革命として女性

そのすばらしさに陶酔した。帰り途満月が皓々と輝き、市内を眼下に立ち去り難い思いにかられた。さて、宿望のロマンチック街道であるが、これは「ローマの道」の意で、ロマンとは無関係で、日本の東海道、甲州街道、中仙道と同じである。しかし一〇〇年も前につくられた道が、いまだにがっちりとしていたのは驚かされる。フランクフルトの東南約一〇〇キロに位置するヴェルブルグからドイツ最南部のアルプス山麓フェツセンまで全長三五〇キロをいう。街道は美しい町や村が点在し、古きよきドイツを感じさせる。(今回は逆コース)

第6回 国際女医学会西太平洋地域会議

開催地 オークランド(ニュージーランド) The Health and Well-Being of the Family 家族の健康と幸福

旅行スケジュール案

1 会議出席コース

(a) 阪急交通社主催 旅行期間... 96年3月19日(火)~3月24日(日) 六日間

(b) JTB主催 旅行期間... 96年3月19日(火)~3月25日(月) 七日間

(c) 日通旅行主催 旅行期間... 96年3月19日(火)~3月24日(日) 六日間

2 会議出席とグレート・バリアー・リーフ(阪急交通社主催)

旅行期間... 96年3月16日(土)~3月25日(月) 十日間

3 会議出席とニュージーランド周遊(JTB主催)

旅行期間... 96年3月19日(火)~3月30日(日) 十二日間

4 会議出席とシドニー9日間(日通旅行主催)

旅行期間... 96年3月17日(日)~3月25日(月) 九日間

お問い合わせ、お申し込みは各旅行社へ

阪急交通社... 千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル

J T B... 中央区京橋1-3-3

日通旅行... 豊島区東池袋4-23-15 第2キズズメンビル2階

TEL... FAX... TEL... FAX... TEL... FAX...

TEL... FAX... TEL... FAX... TEL... FAX...

TEL... FAX... TEL... FAX... TEL... FAX...

TEL... FAX... TEL... FAX... TEL... FAX...

TEL... FAX... TEL... FAX... TEL... FAX...

平成6年度 日本女医学会会員学位取得者一覧表 (学術部) 平成7年12月10日

全国医科大学80校に調査依頼し55校より回答あり結果435名の学位取得者中9名の既会員がおり、会員外で住所判明の367名に入会のお誘いをし6名の入会あり。(※印は平成5年度学位取得者) (敬称略)

Table with columns: 支部, 氏名, 出身校, 卒年, 論文名. Lists 20 members and their research topics.

と、取り上げました。エイズについては、既に講演会をもたれ、好評を博された群馬支部の丸茂先生にご指導をいただき、講師には会長の佐藤千代子先生と、会員の吉永陽子先生をお迎えしました。

付記 当日、福島県下では団体開催中で講演会々場前を同時刻に天皇、皇后両陛下がお通りになるといった特別の事態となりまして、ご参集いただきました方々に、大変ご迷惑をおかけいたしましたしわけございませんでした。お詫びいたします。

にエネルギーを与えることになりました。つまり、誰の子を妊娠しても生むか生まないか、さらにはそれをどう生み育てるか……というすべに、若い人が生活の基盤とする家も持ちにくいとなると、一口に結婚、子育てということも、なかなか重たいことになりません。

ここに到り、ようやく行政が、高齢化社会を守るために、赤ちゃんが生まれにくいと困る……ということから、子育てのエンゼルプランを作り、例のごとく五年とか十年の計画でやる……というところであり、まだまだ「画に描いた餅」ではあります。まず第一子から児童手当をつける……というところですが、お金で子供の数を増やすには限界がありましよう。

ルプランを成功させたいのであれば、①夜間保育を充実してほしい、②ショートステイの病児保育室を作ってほしい——この二つをお願いしたいと思います。私どものまわりには、女医さん、看護婦さん、そして介護婦さんなど、突然オーバertimeになったり、深夜、深夜勤務に及ぶ方々がいたり、います。もちろん家族の困窮なしにはなかなかやれない業種ではあります。それが、それでもなお限界があるとしますと、シッカリした夜間保育の施設を行政の力で充実してほしいと願わずにはおられません。また折角はりきって仕事をされているところに、ゆーちゃんお熱が三十八度もありますからお迎えにきて下さい」という連絡を受けてしまえば、「エッ！ウソッ！これから手術なのに……」などといっていらなくなるわけですね。こんな時、ショートステイの病児保育室が備わってれば、どんなに安心できるでしょう。これは、内科や小児科の医院とあらかじめ予約制（行政が一床いくらか、というふうにお子さんが熱を出しても迎えに行ってくれ、ママが退けるまで看護してもらえらなれば、どんなに助かるでしょう。こんな施設は民間で充分やれることだと思えます。あとは行政がどれだけフォローしてあげられるか、決断、だけだと思えます。たとえば大きな団地の中の保育所と、その近辺の医院の間にこのような契

約ができていけば、ママはいつも安心して仕事ができ、子供さんもママが迎えにくるころには熱も下がって元気になっている……となれば、一挙兩得ではないでしょうか。一方、私はどうも近年、男性に雄のニオイがしないなあ……という気がしてきました。もちろん私が年老いたせいだろうとは思いますが、身近かに見かける男性は、IQは高いのでしようが何かロボット的で、雄の持つ孤高や、孤独と闘っている、キラキラしたエネルギーが感じられないのです。以前、私がシルクロードの終着地シリアの砂漠で遇ったベドウィンの男性の、ハヤブサのようなキラキラ輝く澄んだ瞳が、日本の汚染された空気のせいなのか、だんだん見られなくなっているように思えてなりません。

郡山市で公開講演会

福島支部 兼谷 啓

市民の中では身近かで親しみ深い存在となっております。今回は、世界的に急増し、日本においても、ここ数年、急激に増えている「エイズ」から、次代を担う子どもたちを守るために、エイズについての正しい知識を学んでもらおう

理事会議事録

日時：平成7年9月30日(日) 午後3時30分 場所：京王プラザホテル 出席者：佐藤、白浜、中濱、野澤、稲生、栗原、佐々木、佐野、野本、橋本、松井、丸茂、大澤、大坪、加藤、鹿田、清水、田中、久田、宮原、村田、南雲、藤岡、山崎名譽会長 (以上24名) 欠席者：青井、石原、橋川、平敷、川田、佐伯、西嶋、松本、山本、吉崎、野呂 (以上11名) 議事検討事項 一、庶務報告 鹿田理事 別紙どおり報告。 承認 二、会計報告 栗原常任理事 平成7年7月分、8月分収支別紙どおり報告。 承認 三、各部報告 松井常任理事 【渉外部】 ・「女性の歴史と未来館に関する懇談会」出席の報告。 ・加藤理事より「第4回世界女性会議」出席、「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」出

席の報告。

【事業部】

丸茂常任理事
・「エイズ小冊子」、残部も少ないので一層の協力を要請。

・10月15日福島、郡山で開催される「公開講演会」に多数の参加を要請。

【広報部】

大坪理事
第一四四号会誌の割付会議9月19日に開催し、10月末発送の予定。

【学術部】

橋本常任理事
・「講演研修会」のポスターを全医科大学と近郊病院に発送。

・来年4月ドイツ、ケルンでの国際女医会Executive Meetingの議題についての意見を要請。

【会長報告】

地域功労賞の濱田幸江先生よりご丁寧なお礼状と三万円のご寄付があった。

・兵庫県支部長の宮地先生より義援金に対してのお礼状があり、「家屋全壊の会員の方に三十万円、半壊の会員の方に十五万円、半壊に近い会員の方に十万円差し上げ、大変感謝された」との報告があった。

・10月15日郡山で開催される「公開講演会」、福島県支部長の兼谷先生のご尽力で準備完了。

四、エイズ小冊子について

群馬での公開講演会の内容を小冊子にしたので、それも併せて利用して欲しいとの要請。

五、医療奉仕への助成について

他に申請がないので女子医大地区保健研究会に授与することに決定。

今後、会誌に「医療奉仕への助成」の応募記事を記載する。

六、年会費減免について
・新入会員の会費は新卒者のみ八〇〇〇円とする。

・常任理事会では「年会費減免は八十五歳以上、五十年継続会員で本人の申し出による」という案がでたが、八十歳以上の会員数と八十五歳以上の会員数を調べ、再度検討する。

七、入会のしおりについて
庶務部で次回理事会までに「会員であることのメリットを強調した原案」を作る事に決定。

八、会員増強の方法について
前に討議された内容を再検討し、より具体的かつ可能性を重点として討議した。

九、国際女医会議西太平洋地域会議について
・来年3月20日から23日までニュージーランドのオークランドで開催。

・日本からの演題提出者は現在のところ四名。
・希望者があるのでアブストラクトの日本語版を作る事に決定。

十、その他
・大和銀行の貸付信託等の預金について検討するが、その対策を会計部に一任することに決定。

・会費自動振り込み手続き完了者が少ないので、次号会誌に再度「会費納入の方法について」お知らせを記載することに決定。

・会誌についてII地域の活動、女医に関するニュースなど身近な話題など内容に変化を持たせる。また、それに関する記事の提供依頼を会誌に掲載する。

・東大大学院生より学位論文のため、女医会会員名簿の借用の希望があったが、購入してもらおう。アンケートには応じる。

・理事を長い間務められた山本杉先生の本葬に女医会として生花を送る。

・豊島支部長の上崎先生より「阪神大震災救援活動で余った老眼鏡をボランティア活動に有効に使用したい」との要望があったので二〇〇コを使って頂く事に決定。

・韓医日報より「日本韓国女子医師交流会」設立の提案があったが、さらに検討の必要があるとの結論になった。

・日通旅行より女医会会員に旅行のパンフレットを送りたいとの要請があったが、「女医会推薦」と記載しない約束で認める。

副会長(庶務部担当) 白浜 鹿田、久田、村田

新卒入会(敬称略)
岩手支部 関浩子
宮城支部 中野英代

会員動静

埼玉支部 大津聡子
板橋支部 加瀬奈津子
北支部 中島知賀子、前田祐子
世田谷支部 伊藤あき子
台東支部 柏原明子
東女学内支部 藤田かおり
愛知支部 岩川実知子
大阪第3支部 前田恭子
兵庫支部 室井敬子
広島支部 池田みどり
岡山支部 徳山弥生
愛媛支部 今井香里

入会会員(敬称略)
北海道支部 長谷部千登美
福島支部 菊池清子
群馬支部 斎藤尚子
群馬支部 宮久保純子
埼玉支部 斎藤和歌、田村綾子
神奈川支部 横内聡子
板橋支部 和氣美華
杉並支部 前田征美
世田谷支部 田中佐喜子
中野支部 宮地三千代
東女学内支部 大賀聡子、長尾薫
部下東支部 加藤純子、山口知子
愛知支部 大橋俊子
受知支部 青木万紀子、加藤明子
中根織絵
山口支部 久保知可
福岡支部 田代陽美子

退会者 三七名
物故者(敬称略)
北海道支部 脇本トキ
高師支部 山口三重
杉並支部 熊谷美津子
岡山支部 河野ヒサ

集記 編後

二十世紀もあと五年を残すのみとなりました。95年は年頭より予期せぬ阪神大震災が起り、3月には地下鉄サリン事件で人々を恐怖におとし入れました。夏は二年続きの猛暑に悩まされましたが、年の瀬を控えて寒波襲来、北国は三十年ぶりの降雪とか、大変のことと思います。今年はいよいよ年でありますよう祈るのみ。

本号は各支部長さん方に年頭所感をお願いしたところ、たくさんのご寄稿を頂き、有難う存じました。

10月の郡山での公開講演会は成功裡に終り、11月の講演研修会も異色の演題で大変好評を博しました(唄先生の講演内容は次号掲載)。産婦人科医の松本文絵先生の京都での講演は、とても有意義な内容ですので、ぜひ一読願いたいと思います。

(稲生)

平成8年1月20日 印刷
平成8年1月25日 発行
編集人 稲生 襄
発行人 日本女医会
発行所 東京都渋谷区渋谷2-8-7 青山宮野ビル
社団法人 日本女医会
☎三三九八一〇五七一
FAX三三九八一八七六九
制作 東京都文京区水道1-5-16
株式会社 金剛出版